

飛鳥寺 日本で初めての本格的寺院。法興寺・元興寺ともいわれたが、現在は飛鳥大仏(重文)を祀る安居院だけが残っている。安居院西側の田の中に、蘇我入鹿首塚という五輪塔がある。

談山神社 藤原鎌足の長男・定慧和尚が、父を弔うため建立した妙楽寺が起源。江戸時代までは42坊が栄えた神仏混淆の寺で、明治になって談山神社として独立。現存する唯一の木造十三重塔(重文)や秋の蹴鞠祭りで有名。

コースのあらまし 談山神社門前から西大門跡へ。念誦岨不動尊や念誦岨への分岐を過ぎてほどなく、舗装路から左に下る地道へ。ここから分岐点までほぼ下り、杉や松の植林の間、木漏れ日を見ながら歩く。道の中央に石標があるのが分岐点。万葉展望台からの眺めを満喫し、右に下れば小原の里を経て飛鳥坐神社から飛鳥寺。左にとれば、やはり下りが続いて果樹園の間を通り、上居の集落を過ぎると、蛇行してまもなく正面に石舞台が見えてくる。

- 大阪上本町駅から桜井駅まで約40分
- 京都駅から桜井駅まで約1時間(大和八木駅まで特急利用、大和八木駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から桜井駅まで約2時間05分(名張駅まで特急利用、名張駅のりかえ)
- バス 桜井駅から多武峯まで約20分
飛鳥大仏から福原神宮前駅まで約20分
石舞台から福原神宮前駅まで約25分
- バスの時刻のお問い合わせ
奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742) 20-3100

このコース地図は2023年8月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせは近鉄大阪ハイキング係 ☎(06) 6775-3566

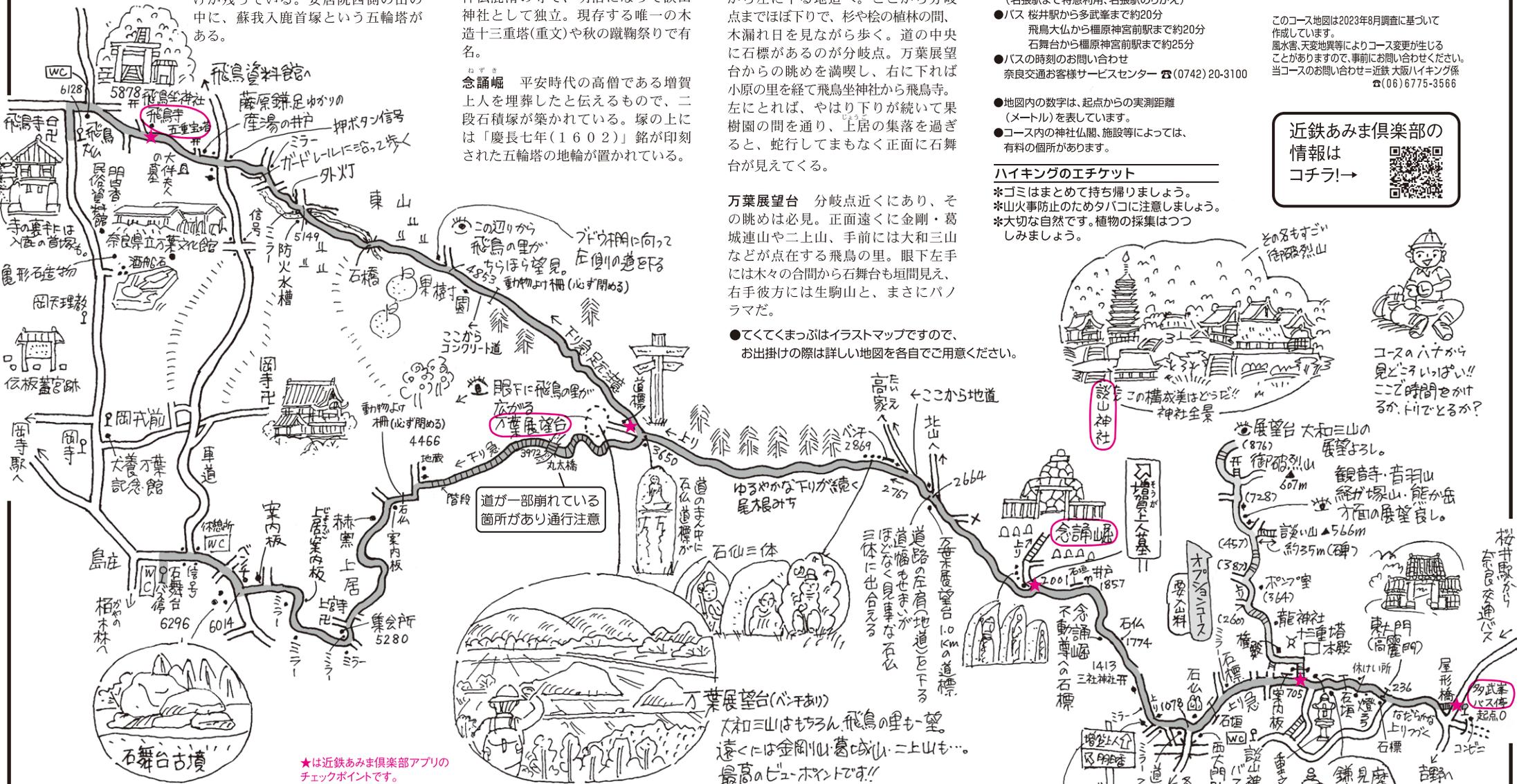
近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ! →



- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表しています。
- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。

ハイキングのエチケット

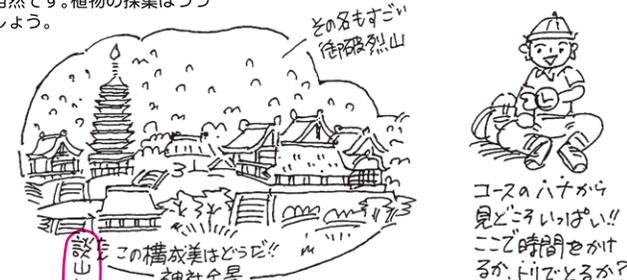
- *ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
- *山火事防止のためタバコに注意しましょう。
- *大切な自然です。植物の採集はつしめましょう。



念誦岨 平安時代の高僧である増賀上人を埋葬したと伝えるもので、二段石積塚が築かれている。塚の上には「慶長七年(1602)」銘が印刻された五輪塔の地輪が置かれている。

万葉展望台 分岐点近くにあり、その眺めは必見。正面遠くに金剛・葛城連山や二上山、手前には大和三山などが点在する飛鳥の里。眼下左手には木々の合間から石舞台も垣間見え、右手彼方には生駒山と、まさにパノラマだ。

●てくてくまっぴはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。



コースのハナから見るとはいはい!! ここで時間をかけるか、フイどするか?



万葉展望台(バナーあり)
大和三山はもちろん飛鳥の里も一望。遠くには金剛山・葛城山・二上山も... 最高のビューポイントです!!

- 多武峯バス停～談山神社～分岐
- 飛鳥大仏バス停(約6キロ)
- 石舞台バス停(約6キロ)

増賀上人墓方面へ進む

石舞台 古墳の石室が露出したらしい総重量2300トンの巨岩の組石。蘇我馬子の墓とも言われるが確証はない。国営飛鳥歴史公園石舞台地区として整備され、季節ごと桜やススキが美しい。

きれいな思い出 ♻️ きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

多武峰・飛鳥の里コース

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=鈴木福人 ※無断転写禁す。

